



JA ごとう

2024

6

JUNE
JA ごとう
No.220

最新のテクノロジーで変わりゆく農作業
農業機械

第23回 JA ごとう 通常総代会のご案内

過去最多の上場頭数、価格は50万円台
5月期 牛せり

お互いの圃場で栽培技術の向上を図る
ほめられかぼちゃ現地検討会

GPS を使った直進自動操舵機能を搭載した田植機の実演会
(五島市玉之浦町上の平)



最新のテクノロジーで変わりゆく農作業。

●GPSは「Global Positioning System(グローバル ポジショニングシステム)」の略で、日本語では「全地球測位システム」と呼ばれます。身近なものではカーナビゲーションシステムやスマートフォンなどに利用され、今では私たちの生活に欠かせないものになっています。



チルト機構で作業機を傾け、畦際の仕上げが容易



荒木さんが導入した牽引式レベラー



GPSレベラーを導入した荒木善弘さん

田んぼに水を入れる前の均平作業で
その後の代掻き作業が随分と楽になる。

GPSレベラー



大量の土を動かし圃場の均平が図れます。



チゼルと呼ばれる爪が土を砕き乾燥を早めます。



モニターで圃場の高低差などを確認



モニターに表示される圃場の高低マップ



GPS受信アンテナ

近代農業において、効率的に安定した食糧生産の一翼を担う農業機械。その技術の進歩は日本の農業にも大きな変化をもたらしています。

中でも近年、人工衛星を利用して位置を測定するGPS(ジープイーエス)を活用した農業機械の開発と普及が急速に進んでいます。

その中から今回、トラクターアタッチメントと田植機を紹介します。

五島市堤町で和牛繁殖と水稻栽培を営む荒木善弘さん(62)は今年、水田の整地用にトラクターアタッチメントのGPSレベラーを県内で初めて導入しました。

水稻栽培で重要な均平作業は、均一に水を行き渡らせるために圃場の高低差を極力無くす作業で、これまで水を張って行う代掻きと呼ばれる仕上げの段階で行われてきました。しかし、代掻きは低速で行わないと効果が低く、手間と時間がかかりました。荒木さんにとって、牛の世話や牧草の収穫で多忙を極めるこの時期、GPSレベラーで代掻き前に整地作業を行うことで繁忙期を分散することが可能になります。

直進自動操舵システム

モニターを使い植え幅などが調節できます。



RTK受信アンテナ

荒木さんが導入したGPSレベラーは、高精度GPS測位方式を利用した高低マップ機能付レベラーで、圃場の外形と高低差を測量し、キャビンのモニターに表示される高低マップや等高線図などを見ながら高低差±2・5センチの精度で均平作業が行えるといえます。

「農業機械への投資は、時間への投資でもあります」と、荒木さんは、新たな技術と性能を持つ農業機械の進化に期待を寄せました。

五島市玉之浦町上の平の水田で行われた新型田植機の実演会では、地元の農家が実際に田植えを行い、最新の技術を体験しました。

GPSに加え、測位誤差が約数センチになるRTKアンテナユニットを搭載し、直進時に自動操舵ができるこの田植機は、操作が不慣れな方でも簡単にまっすぐ田植えができるといういます。

田植機に乗ったことがない人から見ると、機械に乗ってラクに見える作業も実は、かなり神経を使うもので、長時間に及ぶと疲れがたまり集中力も落ちてきます。直進自動操舵機能は、こうした疲労を軽減させることで作業効率も向上するとされて

います。

田植機を試運転した農家からは「初めはどんなものかと思っていたが、自動操舵のおかげで作業に物足りなさを感じるほど楽です」とか「まっすぐ植えられた田んぼを見ると気持ちが良い」との声が聞かれるなど好評を得ていました。

実演会を開いたメーカーの担当者によると、今回紹介したのは、パワーステアリングが装備された田植機であれば装着可能な後付けタイプの自動操舵システム。GPSアンテナとハンドルを操るモーター、植え付け幅などを調整するモニターがセットになっています。田植機からトラクターに付け替えて、田起こしや畦塗り、代掻きにも対応するなど汎用性は高く、五島で栽培されている芋の畝立てに使うと、楽に真っ直ぐな畝を立てることができると、多様な用途に活用できるとしています。

現在、国では、日本の農業技術にこうした先端技術を駆使した「スマート農業」を活用することで、農作業の省力・軽労化を更に進めることができ、加えて新規就農者の確保や栽培技術の継承にも期待されるとしています。

第23回

JAごとう通常総代会のご案内



日時:令和6年6月27日(木) 午前10時～

場所:カンパーナホテル (五島市東浜町)

※当日は近隣の有料駐車場をご利用ください。(後日、領収書と引き換えに清算させていただきます)
カンパーナホテル周辺には駐車できませんのでご注意ください。

JAごとう **地区別総代説明会**

通常総代会を前に、活発な質疑応答。

●6月27日に開催を予定する第23回通常総代会に先駆けて、管内各地区の総代を招集して5月20日から6日にかけて行われました。



地区別総代説明会

総代は、農業の発展と地域社会に貢献するJA運動に取り組む正組合員を代表し、各地区でその数が定められています。

総代会は、JAの組織の中で最高経営意思決定機関とされ、JAごとうの総代の定数は500名。通常総代会では、一年間のJA活動を検証し、次の年に活かすために、総代の果たす役割は大きく、地区の課題を提起し、対策を提案することで、より地域に根差したJAがつくり上げられます。

JAごとうは、総代のこうした意見や質問を聞き、今後の経営に反映するため毎年、通常総代会を前に地区別に説明会を開催しています。

5月20日から始まった地区別総代説明会は、崎山支店を皮切りに下五島地区8か所、上五島地区4か所で5月31日まで6日をかけて行われました。

説明会では、昨年度の決算や事業報告、今年度の事業計画など、通常総代会で審議される議案や報告事項について役員から説明されました。

真剣に聞き入っていた総代からは、JA運営に対する建設的な質問や意見が出され、役員が丁寧に答えていました。



肉用牛

過去最多の上場頭数、価格は50万円台。

●子牛の平均価格が昨年9月期を底にわずかながら上向きに転じて前回58万円まで回復したことで生産者は安堵はしつつも未だ厳しい経営状況に変わりはありません。



令和6年5月期のせり市が5月13日と14日、五島家畜市場で開かれ、生産者189戸が過去最多の711頭（子牛659頭、成牛52頭）を上場しました。

前回、4期ぶりに平均価格が50万円を超えたことで生産者からは「この調子で上げてくれれば」と期待する声が聞かれる一方で「50万円を下回らなければいいが」と心配する声も。

今回、生産者がせり価格以上に心配していたのは、悪天候で滞っている牧草の収穫。例年5月は天日で乾燥させた牧草（乾草）を収穫して貯蔵する時期で、収穫量が年間の飼料経費に大きく影響します。せりを終え青空を見上げた生産者は「ようやく晴天が続きそうだ。帰ってすぐに作業しなければ」と話しました。



せり開始前、場内では昨年度、最も多くの子牛を落札した購買者として株式会社桑原畜産（本社佐賀県嬉野市）に長崎県知事から感謝状が贈られました。株式会社桑原畜産は令和5年度、五島家畜市場で開かれたせり市で457頭の牛を購入しています。贈呈式では会長の桑原秀隆氏（写真右）が感謝状を受け取りました。



令和6年5月期せり市成績表（子牛）

※税込、落札価格のみ税抜

性別	売却	落札価格	最高価格	平均価格	kg単価	平均体重	前回比
メス	280 頭	121,335,000 円	1,193,500 円	476,673 円	1,739 円	274 kg	93.6%
去勢	378 頭	209,366,000 円	993,300 円	609,266 円	2,029 円	300 kg	93.1%
合計	658 頭	330,701,000 円	1,193,500 円	552,844 円	1,912 円	289 kg	94.5%

お互いの圃場で栽培技術の向上を図る。

●高品質なかぼちゃを安定して出荷することで市場価値を高めようと各部会員の栽培技術の向上のため現地検討会を重ねています。



ほめられかぼちゃ



花の下で丸く膨らむかぼちゃの果実

MVM商事(株)向けかぼちゃで全国トップブランドの産地を目指すJAごとうほめられかぼちゃ部会は、栽培技術の向上を図り、安定した品質のかぼちゃを生産するため全員で圃場を巡り生育状況や栽培管理などを確認し合う現地検討会を開いています。

4月下旬には圃場のかぼちゃもつるが長く伸びて黄色い花が咲き、花の下には小さい実が出来始めていました。

五島振興局の担当者は、この時期は病害虫の被害に特に注意が必要として、葉や果実表面を食害するウリハムシやハダニ、多発すると葉が

枯死して果実肥大への影響を及ぼすうどんこ病への対策を呼びかけました。また、順調な生育に必要な追肥のタイミング、果実の品質を上げるための皿しき、直射日光による日焼けを防ぐためのクラフトテープ等による日よけ対策などが説明されました。

昨年は天候不順により品質が低下し、思うように収量も伸ばせなかったことから本年産のかぼちゃにける部会員の期待は大きく、高品質なかぼちゃの収穫に向けて現地検討会を重ねていくことにしています。

令和6年産 大麦 品質検査

収穫期の長雨が形質に影響、全量2等へ。

●近年、麦の収穫時期の天候悪化が顕著になってきています。こういった気候の変化をみると、あらゆる作物における全ての『適期』が徐々に通用しなくなっているのでは。



大麦

5月7日、三井楽のライスセンターでは、4月23日から30日に搬入された約75トンの大麦(はるか二条)の検査が行われました。

麦は本来、粒に丸みと張りがあり、黄色みを帯びているとされますが、今シーズンは収穫時期に異常なほどの降水量に見舞われたため品質が大きく低下しました。

検査ではカルトン(黒い皿)を使って整粒具合を確認すると、黒っぽい退色粒(被害粒)が目立ちます。

検査の結果、整粒割合が60%以上で、被害粒の混入割合が15%以下とされ、格付け要因としては形質(粒の形状と質)の2等となりました。



三井楽ライスセンターで行われた大麦の品質検査



大麦をカルトンに入れ整粒割合を確認

検査は、ほかに富江と福江のライスセンターでも行われ、いずれも2等という結果でした。JAの担当者は、「検査では充実不足の粒も見られ、悪天候の影響で品質低下を招いてしまったことは残念ですが、今後も地力の向上と維持に努めてもらいたい」と話しました。



検査の最中にも搬入される大麦(福江ライスセンター)



“おいしくな～れ”のかけ声で楽しく餅つき。

●五島に伝わるかんころ餅のおいしさを現代の子どもたちに教えていこうと昨年からララコープとの共同で取り組む食育活動。今年も子どもたちの明るい笑顔がはじけました。

女性部活動

JAごとう女性部は4月20日、生活協同組合ララコープに協賛して『かんころ餅づくり』を本店で開催。ララコープが募集した保護者と子供合わせて16名が参加しました。

講師を務めたのは、女性部の馬場寄奈津子さんと山田愛子さん。

あらかじめセイロで蒸しあげたもち米を機械でつきあげて白餅をつくり、蒸したかんころと混ぜ合わせて再び機械へ。

にゆるにゆると出てきたかんころ餅に子どもたちも大喜び。

全員で細長く丸めて出来上がりました。

かんころ餅づくりは昔ながらの五島の風物詩。子どもたちは「今度家でもつくりたい」と笑顔で話していました。



“おいしくな～れ”のかけ声が響くかんころ餅づくり



みんなで一緒に丸めて出来上がり



講師を務めた馬場寄奈津子さん（右）と山田愛子さん



秋の収穫を楽しみに、みんなで芋植え。

●農作業の先に生まれる野菜やくだもの。次世代の子どもたちには知っておいてもらいたい「食」の流れ。「あたりまえ」が、この先も「あたりまえ」であるために。

青年部活動



苗を植える前に鍬を使って全員で畝立て作業



苗の植え方の説明に聞き入る生徒たち



植え方をやさしく説明する青年部員

「食」とそれを生み出す「農」について、体験し、学んでもらおうと、JAごとう青年部三井楽支部は5月10日、三井楽中学校の生徒31名と芋植えを行いました。

校舎の裏にある1.5㍓ほどの畑に集まった生徒たちに青年部員が芋植えの作業手順を説明すると、さっそく全員で鍬などをを使い畝を立てる作業にと

りかかりました。

日頃、鍬などの農具に接する機会が少ない生徒たちは、うまく畝を立てることができずに四苦八苦。それでも青年部員の指導を受け、要領をつかむと手際よく作業を進め、1学年2本、合計6本の畝を立てることが出来ました。

ここでようやく苗の植え付

けです。青年部員が準備したさつま芋の苗を畝の上に並べると、植え方を説明。生徒たちは青年部員の手元を真剣なまなざしで見つめていました。

説明を受けた生徒たちが苗を手に取り一本ずつ丁寧に植えていきます。その様子を青年部員はやさしく見守りながら生徒に寄り添って指導してい

ました。

植え付けが終わると、全員で畑にたっぷり水をかけて終了しました。

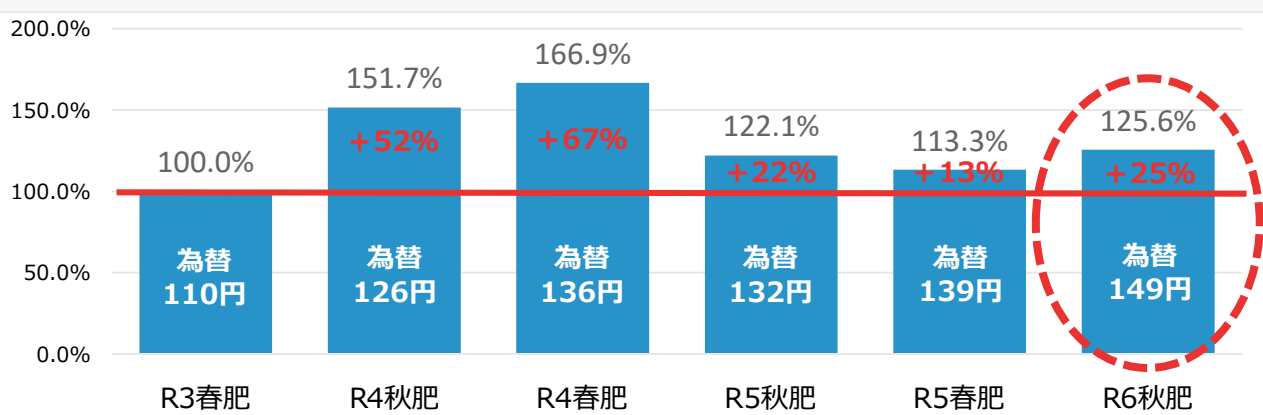
作業を終えた生徒は「楽しく芋植えができました。これからみんなで雑草取りや水やりなどをして秋の収穫を楽しみにしたいと思います」と話しました。

JAグループをご利用の皆様へ 肥料価格改定のお知らせ

2024年7月1日（令和6年秋肥）より、
肥料価格が一部値上がり※いたします。

※品目によって値上がり幅は変動します。

指標銘柄（15-15-15）価格変動の推移



☑ 中国の輸出規制など世界情勢の影響

肥料原料は世界中で需要が回復しつつあるものの、原料の購入先である中国の輸出規制やロシア・中東情勢に関しても不透明な状態が続いております。JAグループでは生産者の営農に影響のない様、肥料原料確保に努めております。

☑ 為替の円安傾向

海外から輸入している肥料原料の価格は為替相場に大きく影響いたします。現在外国為替相場は150円台が続いており、円安傾向に推移しているため肥料価格の値上がりに繋がっております。

☑ 物流コストの上昇

燃料費の高騰、働き方改革（2024問題）などで物流に係るコストが上昇しております。



お早めにお買い求めください！

ごとう農業協同組合



JAバンク長崎 JAカード 新規申込特別企画

今なら! **新規のお申込みで
商品券※1,000円分
プレゼント!**

家族カードも
対象です!



※商品券は農協関連施設で
使用できる商品券です。



《お取扱期間》2024年4月1日(月)~2025年3月31日(月)

**JAカードとは、JAならではの特典を
備えたクレジットカードです。**

WEB申込
詳細は
こちらから



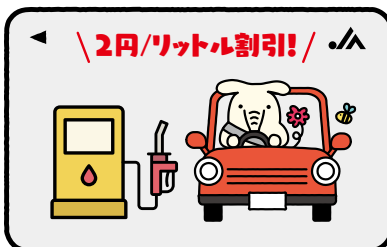
特典
1

対象のJA直売所・ファーマーズ
マーケットでJAカードをご利用
いただくとご請求時に5%割引に!



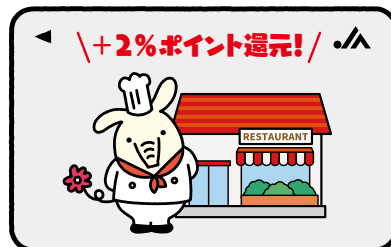
特典
2

対象のJA-SSでJAカードを
ご利用いただくと、ご請求時に
2円/リットル割引に!



特典
3

直売所・給油所を除くJAグルー
プの対象店舗のご利用で通常のポ
イントに加えて+2%ポイント還元!



●取扱の商品券は、JAによって異なります。 ●本企画は書面での申込を対象とし、WEB申込については対象外となります。 ●本人会員様の配偶者・親・子供(高校生を除く18歳以上)の方であれば家族カードの発行が可能です。なお、本人会員様が学生の場合は家族カードの発行はできません。
●家族カードの発行は3枚までとなります。

JAバンク長崎

詳しくはお近くのJA窓口へお問い合わせください。

(JA長崎せいひ、JAながさき県央、JA島原雲仙、JAながさき西海、JAごとう、JA壱岐市、JA対馬)

電化ショー

農機・自動車合同展示会

日時: 6月29・30日

場所: 本店特設会場

皆様のご来場お待ちしております!

施設作業員募集

作業場所	作業期間
育苗センター	3月～11月
アスパラ選果場	3月～10月
ブロッコリー選果場	12月～5月
高菜加工施設	12月～3月

詳細は本店 農産園芸部までお問い合わせください。
☎0959-72-6214

WEB年金相談会のお知らせ

年金についてのお困りごとを

社会保険労務士へ相談してみませんか?

開催日 毎月第2水曜日(祝日の際は翌営業日)

開催時間 1)09:00～09:50 2)09:50～10:40
3)10:40～11:30 4)11:30～12:20

詳細は本店金融部までお問合せ下さい
☎0959-72-6212

青島 淨倫会館

試意と真心でご奉仕いたします
事前のご相談も承ります

株式会社 JAごとう葬祭

【本店】
〒853-0041 長崎県五島市籠淵町 2450
電話 0959(72)8211 FAX 0959(74)5266

【上五島支店】
〒857-4404 長崎県南松浦郡新上五島町青方郷 355-7
電話 0959(52)2417 FAX 0959(43)1955



産直市場

五島がうまい

住所: 〒853-0041 五島市籠淵町2450番地 1

電話: 0959-88-9933 FAX: 0959-88-9922

営業時間: 9時～18時30分

※農家レストランは10時30分～14時(予約については別途)

※土日限定バイキング 11時～14時

料金 大人: 1,500円 子ども: 700円(小学生以下)

休業日: 棚卸日(9/末、3/末) 年始(1/1・2・3)

編集後記

最近、私の子供が通う保育園で溶連菌という細菌による感染症が流行しており、注意を促すお知らせがきておりました。手洗いうがいをするなど、子供の健康に気を遣っていたのですが、子供よりも先に私が罹患してしまい、改めて自分の免疫力の低さに驚きました。だんだんと暑い日も増えてきましたので、熱中症等の予防等健康ケアを万全に行って頂ければと思います。

さて、各地区の小中学校で食育活動が始まりました。児童らの食と農への関心を高めるために行う同活動。その様子を取材することが目的なのですが、楽しんで活動に参加する児童らの顔を見てみると、そんな大義名分も忘れ、つい児童らの楽しそうな顔をばかりを追ってしまいます。半年ほど後には収穫の様子を掲載しますので、どうぞ楽しみにお待ちしております。(長瀧 俊一)

JAごとう農業協同組合

●JAごとうNo.220 ●発行/ごとう農業協同組合 編集/総務部企画管理課 〒853-0041 五島市籠淵町2450番地1 ☎0959-72-6211
●<http://www.ja-goto.or.jp> ●印刷/(株)昭和堂

※本書の無断転写、複製、複写を一切禁じます。